



やすぎ 市議会だより

vol.
87
2026.7

6月定例会議特集

- ・令和8年度補正予算可決成立
- ・一般質問

五穀豊穣 5/24 比田花田植え

議会公式SNS

フォローよろしくお願いします



Instagram



X(旧Twitter)

編集・発行：安来市議会広報広聴委員会
TEL：23-3125/FAX：23-3153

表紙写真：比田花田植え 撮影：仲佐 修一 議員

地域振興委員会(6月8日)

議第72号 安来市林業人材育成拠点条例制定について

【概要】

令和8年6月中旬以降に供用開始予定の当拠点に関する条例を制定するもの。

【主な審査内容】

問 拠点を利用しようとする者は市長の許可が必要とあるが、利用するにあたり何か条件があるのか伺う。

答 基本的な利用については、市が業務委託をしたふれあい教室、チェンソー講習等が大部分と考えている。それ以外には、市民の方で、森林の目的に沿うような利用がしたい場合には、中身に応じて許可をしていきたい。

問 林業の人材育成のために、その後の植林なども考慮しないといけないと思うが、持続可能な運用を実施するという考え方であるのか伺う。

答 1度、間伐なり主伐をした後に、例えば、針葉樹の中に広葉樹の苗木を植えたり、作業道をつけたりといった事業を実施し、安来市のモデルとなるような山を造っていきたい。



林業人材育成拠点を確認する委員

文教福祉委員会(6月5日)

議第71号

安来市再生可能エネルギー発電設備の適正な設置及び管理に関する条例制定について

【概要】

生活環境及び自然環境の保全と再生可能エネルギー発電事業との調和を図るため、発電設備の適正な設置及び維持管理について定めるもの。

【主な審査内容】

問 令和7年度から制定について検討してきたとのことだが、なぜ今回のタイミングで、この条例を制定することにしたのか理由を伺う。

答 令和3年のときに大規模風力発電事業が計画され、最終的には事業を断念されたということがあった。そうした経過も踏まえて今回、条例の制定に至ったものである。当初は3月定例会議での提出を目指していたが、パブリックコメントを受け慎重に諮ったため、今回の提出となった。

問 本条例の届出後の許可について伺う。

答 この条例は届出制となっており、内容については、関係法令にかかる部分を全てチェックし、全てクリアできていれば、受理書を事業者に送ることとしている。

議第75号

安来市地方独立行政法人安来市立病院評価委員会条例制定について

【概要】

地方独立行政法人安来市立病院の設立準備のため、地方独立行政法人法第11条第4項に規定されている評価委員会の組織及び委員、その他の職員、その他評価委員会に関し必要な事項について条例を定めるもの。

【主な審査内容】

問 報酬は月額1万円となっているがその根拠は何か。また、理事の任期が4年に対し、委員の任期は2年ということだが、その根拠を伺う。

答 報酬については、病床が200床以下の地方独立行政法人の公立病院の委員報酬額について、各自治体の条例等を調査したところ、平均的な額として1万円であり、その額とした。任期については、他の自治体の事例を調べたところ2年とされている事例が多く、また独立行政法人の国の機関においては、委員の任期として2年が省令で規定されているためである。



1月地震による市立病院外壁被害を確認する委員

原子力発電・エネルギー関係調査特別委員会(6月22日)

第7回の調査特別委員会が開催された。

島根原子力発電所2号機第18回運転サイクル期間中に起きた運転上の逸脱等の原因と再発防止策等について、中国電力より詳細の説明を受けた。



総務企画委員会(6月9日)

議第73号

安来市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について

【概要】

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の定める基準に従い、各市町村が条例で定める額に基づき行うこととなっており、この度、基準政令において、最近における社会経済情勢に鑑み非常勤消防団員等が公務等により死亡した場合における葬祭補償が増額されることに伴い、所定の改正を行うもの。

【主な審査内容】

問 葬祭補償として「31万5千円に補償基礎額の30倍に相当する金額を加えた金額」とあるが、このたび31万5千円が33万円に引き上げられた根拠を伺う。

答 人事院規則及び労働者災害補償保険法における葬祭料が、物価高騰の社会情勢に鑑み、一律で33万円に引き上げられたことに伴うものである。

議第76号 財産の無償貸付について

【概要】

上の台緑の村トライアル事業の事業期間を延長するため、当該の土地、建物及び付属施設を無償で貸し付ける。

貸付期間は令和8年7月1日から令和13年6月30日まで。

【主な審査内容】

問 事業者負担で既存建物や土地に手を加え、試行期間中に用途を変えて使用することは可能か伺う。

答 用途の変更が法的に問題ないと確認できれば可能と考える。

問 貸付期間が終了し、仮に事業者がこの事業から撤退される場合は、元に戻しての返却か、用途を変更したままでの返却になるのか伺う。

答 原状回復が原則だが、実際には事業者と協議して対応することになると考える。



上の台緑の村を確認する委員

予算決算委員会(6月2日)

議第77号 令和8年度安来市一般会計補正予算(第2号) 補正予算額6,400万円

【主な審査内容】

2款 総務費 企画費 597万3千円

問 負担金補助及び交付金の内容について伺う。

答 中海・宍道湖・大山圏域市長会への負担金で、職員1名の派遣を取り止めたことに伴う人件費相当額である。

問 金額の根拠について伺う

答 安来市の30代前半の職員の平均給与から算出したものである。

7款 商工費 製造業生産プロセス変革・販路拡大緊急支援事業 1,670万円

問 生産プロセス変革支援事業の対象5社はどのように対象とされたのか伺う。

答 支援条件を満たす企業5社にヒアリングを行い、支援内容の希望等を確認した結果、全てが対象となった。

7款 商工費 観光施設整備事業 1,250万円

問 上の台緑の村バーベキュー棟解体工事の財源を災害復旧事業債でなく過疎対策事業債とした理由を伺う。

答 単に被災前の状態に復旧するのではなく、機能強化やグレードアップを図るということも念頭に置いたうえで過疎対策事業債とした。

11款 災害復旧費 公共施設・公用施設災害復旧事業 900万円

問 道の駅あらエッサ中海の郷建屋補修工事について、2月の補正予算と今回の関連性を伺う。

答 2月の補正予算の内容は調査、設計費であり、今回は概算工事費を措置したものである。

◆ 一般質問要旨 ◆



誠和クラブ
仲佐 修一

介護人材確保

質問 若年層の介護人材を確保するためには、前提として介護の魅力を広く伝え、興味を持っていただくことが必要であると考えますが、市としてPR等にどのように取り組まれているのか伺う。

答弁 若年層へ介護の仕事を知っていただくため、市内で介護職として働く若手職員にフォーカスし、介護の魅力や安来市で就職する際の市の支援制度をまとめたパンフレット「やすぎカイゴのヒーロー図鑑」を2,000部作成した。

パンフレットは、市内の中学校や高校、介護事業所、県内の介護福祉士養成校などに配布している。

質問 外国人の介護職への採用にあたっては、介護職としての技能や利用者等とのコミュニケーション能力等の修得について、市として支援等を行っているのか伺う。

答弁 大阪健康福祉短期大学安来キャンパスの外国人留学生は、基本的に母国で日本語を学び、日常生活の会話や簡単な読解ができる方々が入学されるため、卒業後も介護職として大きな支障はないものと考えている。

なお、島根県では、多言語翻訳機の購入や日本語学習の実施について支援を行っている。



市民クラブ
岡本 早智雄

自転車の青切符制度と市の対応について

質問 この青切符制度に見合う道路インフラが整備されていないとの問題点が指摘されている。市道県道問わず、青切符制度の額面通りの運用ができるような道路は多くない。制度に見合うインフラ等の整備について伺う。

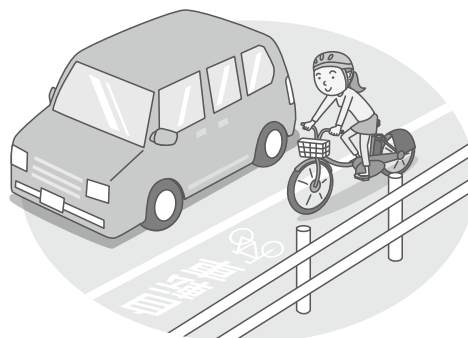
答弁 制度に見合う道路等インフラ整備については、限られた財源の中で、効果のある整備を行うため、既存の道路幅員や利用状況を踏まえ、優先度を見極めながら、まずは、整備手法等の検討を進める。

質問 道路の維持管理、特に路肩の除草なども必要である。自転車・自動車両方の利用者の安全に資する道路管理について、今後ますます力を入れなければならないのではないか考えを伺う。

また、県道も同様であり、実効性ある維持管理作業について、さらに県にしっかりと要望すべきであるが考えを伺う。

答弁 市道の維持管理については、要望も増加し十分な対応ができていないことは認識している。また、青切符制度により、様々な要望が出てくるとも予想される。こういった手法で何ができるのかを検討し、優先順位をつけて対応を行う。

また、毎年、広瀬土木事業所への要望を行っている。地元要望も踏まえ、県に対して十分な予算確保と、安全対策の要望を行っていく。



一般質問要旨



誠和クラブ
石倉 刻夷

地域おこし協力隊の取り組みについて

質問 国の施策で、過疎地などに移り住み、地域の活性化を担う制度として地域おこし協力隊の取り組みがあるが、その任期と支援、また、市へ受け入れた実績と今後の取り組み、目標について伺う。

答弁 平成21年度からの制度で、都市部から人材を受け入れ地域課題の解決や活性化に携わる。安来市は、平成27年度から延べ16名を受け入れ、その内、10名の方が定住され、就農や事業所へ就職、起業された。第3次安来市総合計画、第3期創生総合戦略において、令和12年度までに、地域おこし協力隊の3年の任期終了後、市内定住を12名とする目標を掲げ、関係部署と連携し取り組んでいく。

その他の質問事項

- 空き家対策について
- 中山間地等直接支払制度の推進について
- 花嫁、花婿対策について



政進クラブ
飯橋 由久

三菱マヒンドラ農機撤退に伴う企業支援

質問 市内で影響を受けている企業に対しての支援について伺う。

答弁 安来市としても早急な支援が必要である。6月定例会議で「製造業生産プロセス変革・販路拡大緊急支援事業」に係る予算案を提出している。内容は生産プロセスの変革・拡大又は新事業構築に必要な設備投資に係る経費の一部を補助する「生産プロセス変革支援事業」、営業代行業者を活用し販路拡大を支援する「営業代行等を活用した販路拡大支援事業」、県外展示会への出展費用を支援する「専門展示会出展支援事業」である。

安来市の雇用

質問 雇用対策の取り組み状況について伺う。

答弁 従来の市内就職促進事業に加え、企業立地促進奨励金事業により、働く場の確保にも取り組んでいる。加えて、今年度は、雇用対策協議会を設立し、県や市内経済団体など関係機関と連携した市内企業の人材確保・人材育成に関する取り組みへの支援を行っていく。

質問 雇用対策協議会の準備状況及び今後のスケジュールについて伺う。

答弁 本年4月に定住産業課内に協議会事務局を設置し、2名の専任職員を配置した。現在、市内企業へのヒアリングを行いながら、構成機関との協議を進めている。6月中に設立総会を開催し、具体的な取組を開始していく。



◆ 一般質問要旨 ◆



誠和クラブ
清水 保生

熱中症対策として冷房設備の整備を

質問 今後小中学校の適正配置のなかで、再編後の小中学校の体育館には、児童生徒の健康管理などの観点からも冷房設備を設ける考えはないか伺う。

答弁 小中学校の体育館は大規模災害時には避難所になることも想定される。空調設備の整備の必要性はあると考えている。

今後第2期安来市学校施設長寿命化計画に基づき、教室等の空調機器更新の優先度、国の補助制度の要件などを総合的に勘案しながら整備手法について検討したい。

質問 夫婦共働きの世帯が増える中、夏休み期間中、学校の一室を自習室として開放する考えはないか伺う。

答弁 学校の教室を自習室として開放する場合、体調管理を含めた参加児童の状況把握、見守りの人員の確保と調整、緊急時の対応など、開設には大きな責任と負担を伴うことが予見される。加えて、教員の働き方改革など学校施設の開放は課題も多く、困難と考える。

質問 災害時には避難所も想定される広瀬中央公園体育館、伯太体育館には、冷房設備を整備する考えはないか伺う。

答弁 現時点での整備予定はない。なお、大規模災害時等避難所となる場合は、大型スポットクーラーや扇風機を仮設で設置するなどの対応を考えている。



公明党
佐々木 厚子

生命(いのち)の安全教育について

質問 令和2年、政府が「性犯罪・性暴力対策強化方針」を決定した。子どもたちが性暴力の加害者・被害者等にならないよう、教材・指導の手引きを活用し、発達段階に応じた性暴力防止教育である「生命(いのち)の安全教育」を各学校で実施している。全国的に実施率が低い、安来市の現状を伺う。

答弁 教材利用率はおよそ30%である。今後も教材の良さを最大限活用し、さらに充実させていく。

犯罪被害者等支援事業について

質問 誰もが犯罪被害者や遺族になる可能性がある。安全で安心な暮らしができる地域社会実現のために「犯罪被害者等支援条例」を制定すべきだと思う。

市の考えを伺う。

答弁 独自の条例を制定することは重要と考えている。「犯罪被害者等支援条例」制定に向けて検討を進めていく。

R Sウイルスワクチン定期接種化について

質問 今年度から妊婦へ日本初母子免疫ワクチン、「R Sウイルスワクチンの予防接種」が定期接種化となった。妊婦へ接種することで乳幼児のR Sウイルス感染を防ぐことができる。接種への更なる周知が必要だと思う。市の考えを伺う。

答弁 すべての妊婦が適切な時期に安心して接種ができるよう機会を捉え、更に啓発を行っていく。



一般質問要旨



誠和クラブ
三島 静夫

高齢者が笑顔で暮らせるまちづくり

質問 閉じこもりの高齢者の社会参加を促すための取り組みについて伺う。

答弁 令和7年度に幅広い年齢層の皆様にフレイル予防について興味を持っていただくための動画を作成した。各地区の健康教室や市の保健師等が何う場にて視聴いただき、フレイル予防に関心を持っていただきたいと思う。

また、市民の方から「身近にどういった集いの場があるかわからない」というご指摘もあり、令和7年度秋に安来市社会福祉協議会のHP上に、市内全地区でどういった集いの場があるか紹介している。令和8年度には、この地区別一覧をパンフレット化し、関係機関に配布し集いの場について案内できるように計画している。

質問 車椅子の方が利用できない交流センターについての見解を伺う。

答弁 交流センターは地域コミュニティの中心として、多くの方々に利用されるものであり、その中には、身体的な障がいを抱えた方々も含まれていることは十分に承知している。

今後、各地区の交流センター施設整備事業において、各施設での優先順位はあるが、バリアフリー化を進め、車椅子の利用者や高齢者の利便性を考慮した改修となるよう検討していく。



市民クラブ
小松原 直樹

消防団員確保へ支援を願う

質問 消防団員確保について、市の支援を要請したいと思うが、市の考えを伺う。

答弁 より一層、市、消防本部、消防団が一体となって取り組む必要がある。

質問 消防団の消防力向上と消防職員との交流に対する考え方を伺う。

答弁 消防力向上は、火災や大規模災害を想定した実践的訓練、分団間の合同訓練、方面隊単位での訓練を充実させ初動対応力の強化を図っていく。交流や連携については、訓練や研修、意見交換の場などを通じ、消防職員や消防団員はもとより分団相互の連携を深める機会を設けていく。

小学校再編後の放課後児童クラブの方向性

質問 各児童クラブについて、今後の方向性を伺う。

答弁 各クラブの運営母体の意見を尊重しながら、今後のクラブの在り方や運営について丁寧に協議を進めていく。今年度末で閉校となる井尻、布部小学校については校区内に児童クラブが無いため、希望に応じて校区外の最寄りのクラブへ案内している。

児童の読書推進対応について

質問 読書推進に向けた対応を伺う。

答弁 株式会社プロテリアル安来工場から寄付をいただいている、プロテリアルe文庫の書籍や資料をオンラインで閲覧・利用できるサービスを活用し、約540冊の蔵書を市内全小中学校の児童、教職員が利用して読書に親しむなど、市独自の読書推進対応を行っている。

◆ 一般質問要旨 ◆



志成会
植田 真矢樹

安来市の情報化推進について

質問 新たな利用者の増加に対する情報ネットワーク施設の準備はできているのか伺う。

答弁 大規模宅地開発が見込まれる場合には、従来どおり、行政サービスの提供・維持を担保する観点から、必要に応じて光ファイバケーブルの敷設や機器の増設等により柔軟に対応していく。

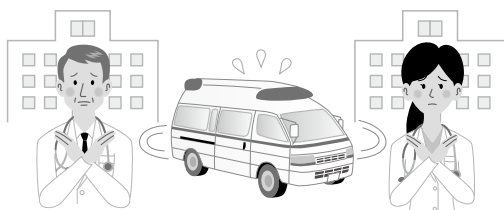
安来市立病院について

質問 定款ではどのような事項が定められているか。現在の安来市立病院の経営内容等との整合についての考えを伺う。

答弁 定款は、法人の目的、名称、設立団体、事務所所在地、法人の種別等に関する事項や、市立病院が行う事業の範囲等の基本事項を定めたもの。目的や業務内容については、現在の市立病院の方向性を引き継ぐ内容として定めており、基本的に市立病院が現在行っている医療提供を引き続き行う考えである。

質問 令和9年度当初で見込んでいる市立病院の診療内容についての考えを伺う。

答弁 市では市立病院が達成すべき業務運営の目標に位置づける「中期目標」を策定し、市立病院はこれを達成するための経営計画として「中期計画」を策定する。「中期計画」は、現在の市立病院の経営方針として掲げている「経営強化プラン」を踏まえ策定する考えであり、法人化後の診療内容についても基本的に現在の内容を維持する考えである。



誠和クラブ
遠藤 亘

就農定住支援について

質問 市の就農定住支援の内容を伺う。

答弁 県・ＪＡなどと連携し、相談会の開催、師匠による実技指導、滞在施設の提供、就農計画の作成支援など切れ目なく実施している。

質問 関係機関との連携について伺う。

答弁 市は事務、県・ＪＡは技術・経営、農業委員会は農地の確保、ＪＡローンセンターは資金と役割分担して支援している。

質問 就農後の支援について伺う。

答弁 県・ＪＡが定期的に巡回指導し、年２回のヒアリングで技術・経営・生活を総合的に伴走支援している。



市民プールについて

質問 利用状況を伺う。

答弁 令和7年度の利用者は約4.1万人で近年横ばい傾向にある。

質問 小学校のプール委託状況を伺う。

答弁 令和8年度は16校中9校が利用予定である。

質問 全校を委託した場合、どうなるのか伺う。

答弁 1,430万円余であり、現状より微増となるが、プール施設の大規模改修や点検等の人的負担から引き続き移行を検討する。

質問 老朽化への対応を伺う。

答弁 調査により修繕箇所を把握し、今年度はボイラーを改修予定である。

質問 意義を伺う。

答弁 競技・健康づくり・学校代替の重要施設である。

質問 今後について伺う。

答弁 更新予定はなく、改修しつつ運用を継続する方針である。

一般質問要旨

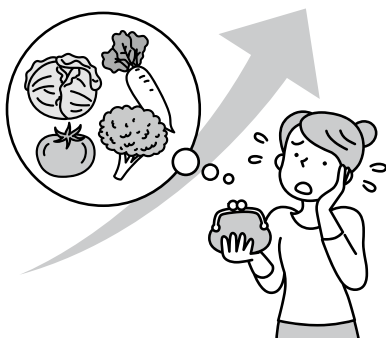


日本共産党
向田 聡

物価高から市民のくらしと経済を守る

質問 今、深刻な資材価格高騰、供給不足が起きており、安来市内でも、くらしや営業・地場産業への影響が出てきている。国に対して、戦争終結に向けて対話による外交的努力を強めていくことと、くらしと経済への抜本的対策を早急に進めるよう求めるべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 国には、引き続きイラン情勢の速やかな事態の収束に向けた外交的努力を継続していただくとともに、市民生活に多大な影響を及ぼしている物価高騰に対しては、国が主体となって十分な財源を確保し、様々な分野にわたって実効性のある対策を実施するよう、全国市長会の要望などを通じて求めていく。



生活道路・通学路の安全確保を

質問 市民から道路整備の要望が多く上がってくる。身近な生活道路や通学路の安全確保のための整備費用の十分な確保と、県道整備など県への要望を強く求めていくべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 市道の安全確保については、舗装修繕、交通安全施設の整備、除草などを限られた予算のなかで計画的に実施している。整備費の確保も十分とはいえないが、緊急性や危険度を見極めながら優先順位をつけて、効率的な維持管理に努めていく。また、県へは生活道路も含めて安全対策のための十分な予算確保について、引き続き要望していく。



政進クラブ
湯浅 正志

中東情勢による市民生活への影響について

質問 農業等の農業資材等への影響は。

答弁 包装に使用するフィルム、暖房に用いる燃料価格の高騰等、今後の営農コストへの不安の声を聞いている。今後の国際情勢や市場動向を注視し、必要に応じて国・県とも連携し支援を検討する。

質問 地域産業への影響は。

答弁 市内商工業者にも影響が及んでいる。資材等の卸売り先からの供給制限や仕入れ価格の高騰が生じているとの声を聞いている。今後も国の動向や経済状況を注視し、市内事業者の状況把握に努める。

質問 安来市の公共交通機関への影響は。

答弁 安来市広域生活バスの運行には、軽油価格の変動による影響はあるが、現在のところ製品供給には影響を受けていない。

質問 医療・介護施設等への影響は。

答弁 それぞれの事業で、一定の品目において、納品の遅延等がみられる。また、物品価格の高騰が示唆されるが、医療行為や介護事業等に支障はでていない。引き続き、各医療機関および事業所と情報共有を行う。

質問 安来市の指定ごみ袋への影響は。

答弁 現時点での指定ごみ袋は、例年どおりの供給量を確保している。引き続き安定的に供給が可能であることから、冷静な消費行動に努めていただきたい。



◆ 一般質問要旨 ◆

議会を傍聴してみませんか？

STEP1 ▶ 議会日程をチェック！

3月・6月・9月・12月には定例会議が行われます。
原則、一週間前に日程が確定します。
HP等で最新情報をご確認ください。



STEP2 ▶ 事前に……

傍聴に予約等は不要です。

※団体での傍聴を希望される場合は、席数の確保や調整等のため事前に議会事務局（安来庁舎4階 0854-23-3125）までお問い合わせください。

STEP3 ▶ いよいよ当日！

安来庁舎の正面玄関から、エレベーターで4階へ。
正面奥が議場です。



- ①入室前に、廊下の机の上に設置されている「傍聴人受付簿」に住所・氏名を記入してください。
- ②「安来市議会傍聴規則」をよく確認してください。
- ③全て記入できたら「傍聴人受付箱」に投函してください。
- ④中に入り、空いている傍聴席におかけください。

<傍聴上の注意>

- ◎スマートフォン等の電子機器は音が出ないようにして、かばんの中にしまってください。
- ◎録音や撮影、飲食等は禁止です。
- ◎議場のまわりではお静かにお願いします。

一般質問は
YouTube
配信しています。



どんな感じが
知りたいな

行くのは
ちょっと面倒

「一般質問要旨」に載せきれなかった熱弁は、右の二次元コードよりご覧ください。

※動画は定例会議ごとに入れ替えられます。



青雲クラブ
丸山 征司

まちづくりと老朽化と財政と人口について

質問 切川バイパス開通後のバス路線見直しについて伺う。

答弁 切川バイパスの開通に併せ、既存のアルテピア線と市街地循環バスを統合し、アルテピア方面への移動と市街地の商店や医療機関への移動をそれぞれ効率的に経由する新たな循環路線を設定する計画である。



質問 年々更に増加傾向の老朽施設を、財政を免罪符にせず、修繕・更新することについて伺う。

答弁 築30年以上経過した建物は全体の棟数の55%を超え、市が所有する公共施設の多くは老朽化が進んでおり、今後更に増加していくことが見込まれる中、単に財政状況を理由として必要な修繕や更新を先送りすることは、市民生活の安全・安心を損なうだけでなく、結果として将来的な財政負担を一層大きくすることにもつながると考える。

本市は持続可能な公共施設マネジメントを推進しており、施設の劣化状況や利用実態、必要性を的確に把握し、優先順位を明確にしたうえで、毎年度予算を確保し、計画的な修繕・更新を進めているところである。

今後も「財政が厳しいからできない」という姿勢ではなく、維持管理コストの縮減、施設の集約化・複合化等も進めながら、市民サービスの維持と安全確保を最優先に、必要な施設の修繕・更新に責任を持って取り組むたい。

第104回安来市議会定例会5月緊急会議(令和8年5月11日)

5月緊急会議では、予算案1件の審議を行い、可決いたしました。また、報告3件を受けました。

■全会一致で可決、同意した議案

提出者	番 号	件 名
市長	議第70号	令和8年度安来市一般会計補正予算(第1号)

■報告事項

提出者	番 号	件 名
市長	報第2号	議会の委任による専決処分の報告について
	報第3号	議会の委任による専決処分の報告について

提出者	番 号	件 名
市長	報第4号	議会の委任による専決処分の報告について

第104回安来市議会定例会6月定例会議(令和8年6月1日~12日)

6月定例会議では、条例案4件、議決案3件、予算案2件、同意1件の合計10件の審議を行い、すべて可決いたしました。また、報告4件を受けました。

■全会一致で可決、同意した議案

予…予算決算委員会、総…総務企画委員会、文…文教福祉委員会、地…地域振興委員会

提出者	番 号	件 名	付託
市長	議第71号	安来市再生可能エネルギー発電設備の適正な設置及び管理に関する条例制定について	文
	議第72号	安来市林業人材育成拠点条例制定について	地
	議第73号	安来市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	総
	議第74号	地方独立行政法人安来市立病院定款を定めることについて	
	議第75号	安来市地方独立行政法人安来市立病院評価委員会条例制定について	文

提出者	番 号	件 名	付託
市長	議第76号	財産の無償貸付について	総
	議第77号	令和8年度安来市一般会計補正予算(第2号)	予
	議第78号	令和8年度安来市病院事業会計補正予算(第1号)	予
	議第79号	工事請負契約の締結について	予
	同第4号	安来市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	

■報告事項

提出者	番 号	件 名
市長	報第5号	令和7年度安来市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
	報第6号	令和7年度安来市電気事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について

提出者	番 号	件 名
市長	報第7号	令和7年度安来市水道事業会計予算繰越計算書の報告について
	報第8号	令和7年度安来市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

アンケート



市議会だよりのさらなる充実をめざして、読者アンケートを実施します。
市議会だよりについて
ご意見をお寄せください

議案等の資料はホームページにも掲載しています

下記二次元コードを読み取ってご覧ください。



5月緊急会議議案



6月定例会議議案



常任委員会視察報告書

文教福祉委員会



令和8年6月5日

広瀬地域センターの現況と移転予定先の確認、市立病院の現況確認を行いました。

地域振興委員会



令和8年6月8日

吉佐四車線化事業現地、移動脱水車(大塚処理場)、林業人材育成拠点施設の現況確認を行いました。

総務企画委員会



令和8年6月9日

上の台緑の村にて施設の現況確認、事業者との意見交換を行いました。

お慶び



多年にわたる議員活動により下記の方が表彰されました。(敬称略)

全国市議会議長会より表彰

議員20年以上 石倉 刻夷
正副議長4年以上 永田 巳好

全国市議会議長会より感謝状

地方行政委員 永田 巳好、岩崎 勉

中国市議会議長会より表彰

議員24年以上 永田 巳好
議員20年以上 石倉 刻夷
議員12年以上 澤田 秀夫
議員8年以上 岩崎 勉、飯橋 由久
原瀬 清正、岡本早智雄

4月20日発行の「やすぎ市議会だよりNo.86」の記載内容に誤りがありました。深くお詫び申し上げ、以下の通り訂正いたします。

箇所:4ページ

[3月定例会議令和8年度予算審査議会の注目点]4行目

議案22議案 議案11議案

箇所:4ページ

[3月定例会議令和8年度予算審査議会の注目点]7行目から4ページ8行目

議決結果は22件とも認定です。

議決結果は11件とも可決です。

今後は確認体制を強化し、再発防止に努めてまいります。

広報広聴委員会

副委員長 佐々木厚子

4月から新年度が始まり事業がスタートしました。市議会も皆さま方のさまざまなご意見を伺いながら、市政発展のために全力で取り組んでまいります。この市議会だけでも皆さま方が楽しみにしていただけのような紙面作りに今後とも取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願います。

世界を見ると、紛争が絶えない状況が続いています。大切な人が戦場に巻き込まれ命を落とすことなどあつてはなりません。一日も早く紛争が終結し、安心して暮らせる日々が戻ることを心から願っています。

田植えが終わり、農家の皆さまは少しほっとされていることと思います。昨年は米不足、値段の高騰とお米に関する問題が日々の暮らしに大きく影響しました。今年は、お米の値段は少し下がってはきたものの、ありとあらゆる物が高騰し、私たちの生活はさらに厳しくなってきました。

編集後記